Town Topics

※ 市旗は市旗です。市全体の話題の場合に表記しています。

まちの話題

農業生産工程管理手法（GAP手法）を取得

鹿屋 KANOYA

㈲三和ファーム（J-GAP）

西ノ原敏男さん（K-GAP）

㈲三和ファーム（札元２丁目）と西ノ原敏男さん（上谷町）が、それぞれ国（J-GAP）と県（K-GAP）の農業生産工程管理手法を取得しました。これは、食品の安全確保などへ向けた適切な農業生産を実施するための管理を実践・記録する取組です。県の制度は、平成16年から継続して市内の農家が取得しており、市では、今後も取得者の拡大を推進していきます。

吾平小５年生55人がロケットづくりに挑戦

吾平 AIRA

５月29日、吾平小学校の５年生55人を対象に種子島宇宙センターの移動宇宙教室が開催されました。これは、子どもたちに科学や宇宙に興味を持ってもらおうと行われたもので、児童は同センター職員の指導のもとペットボトルロケットを製作。作りあげたロケットを校庭で打ち上げると、100ｍを超す飛距離とそのスピードに驚き、大きな歓声をあげていました。

茶の品質向上を目指す

５月13日、ＪＡ鹿児島きもつき東部支所で「肝属地区茶品質向上共進会」が行われました。

これは、肝属地区の上級茶生産に向けた意識醸成や原料生葉の生産製茶技術の向上を目指して行われているもの。当日は、深むし煎茶、普通煎茶、玉緑茶を含む４部門で多数の出品があり、県農業開発総合センター茶業部大隅分場の職員等による審査が行われました。

運動を通じて交流を深める

鹿屋 KANOYA

５月30日、田崎多目的運動広場で、「鹿屋市保健福祉ふれあいスポーツ大会」が開催されました。

この大会は、高齢者や障害者などが運動を通じて相互の親睦を図ることを目的としており、今年で33回目。高校生のボランティアなどを含め約700人が参加しました。

会場は一日中笑顔が絶えず、参加者はさわやかな汗を流しながら交流を深めました。

新緑の中を駆け抜けたクロスカントリー大会

輝北 KIHOKU

５月９日、輝北町市成の輝北うわば公園で「第21回南日本クロスカントリー大会ＩＮきほく」が開催されました。

大会では、ファミリーの部1.2kmから一般８kmまでの８種目が行われ、521人のランナーが参加。

当日は、絶好の天候に恵まれ、参加者は、桜島を眼下に眺める絶景の中、起伏に富んだコースを颯爽と駆け抜けました。

ふるさとの発展を願い「関西鹿屋会」が設立

５月23日、大阪市のホテルで「関西鹿屋会設立総会」が開催されました。これは、平成18年の１市３町の合併に伴い、関西地区に居住する市出身者がお互いの親睦や連携・交流を深めることを目的に設立されたもの。当日は、約150人が出席し、初代会長に中礼思無哉（ちゅうれいしむや）さん（兵庫県）が選出されました。

懇親会では、「ふるさと鹿屋」の話で盛り上がりました。

定額給付金で購入した図書券を贈呈

輝北 KIHOKU

５月20日、輝北町の市成中学校で卒業生による図書券贈呈式が行われました。これは、昭和40年度卒業の入佐恵一郎さん（霧島市在住）など同級生６人が、今年支給された定額給付金で図書券を72,000円分購入し、これを中学校の図書購入用として寄贈したもの。この図書券で購入した本は、６人が命名した「雑草文庫コーナー」に置かれます。

地域の水田の有効活用を図る

吾平 AIRA

５月16日から31日、吾平町で、48.8haの水田に飼料用イネの田植えが行われました。

この取組は、耕種農家と畜産農家が相互に連携することで、転作田の有効活用と良質な自給粗飼料を確保するために、地域の組織的な担い手として設立された集落営農組織が行ったもの。同組織の耕種農家が植えたイネは、秋には畜産農家に届けられます。

鹿屋小３年生84人が菜種の収穫に汗流す

鹿屋 KANOYA

５月28日、古前城町で「かのや菜の花エコプロジェクトナタネ収穫祭」が行われました。これは、環境対策として菜種を軽油の代替燃料に利用するために行われたもので、当日は鹿屋小学校３年生と鹿屋農業高校の生徒、計142人が参加して菜種約50kgを収穫。児童は「菜種の油でトラックが走るなんて驚きだね」と話しながら、菜種の収穫に汗を流していました。

全ての労働者へ感謝のことばと花束

鹿屋 KANOYA

５月22日、信愛幼稚園の園児が市役所を訪問し、歌と花束をプレゼントしました。

これは、園児の社会体験の一環として、全ての労働者への感謝の気持ちを込めて行われているもの。

園児は、賛美歌「小さい花が」を歌ったあと、各家庭から持ち寄った花束を「いつもみんなのためにお仕事ありがとう」と感謝の言葉とともに職員に手渡しました。

太田瑠璃子さんにかのやばら大使を委嘱

５月22日、市役所で「かのやばら大使」の委嘱式が行われました。委嘱されたのは、東京でテレビCMや音楽活動などを中心に幅広く活躍している太田瑠璃子さん（鹿屋市出身・写真向かって左）。

委嘱状を受けとった太田さんは「ばら園の魅力を１人でも多くの人に知ってもらうために頑張ります」と力強く抱負を話してくれました。かのやばら大使は、今回で10人となりました。

リナシティかのやが２周年を迎えました

鹿屋 KANOYA

５月３日、リナシティかのやで誕生２周年記念イベント「リナフェスタ」が開催されました。

当日は、ダンスフェスティバルや投げた落花生をスプーン等でキャッチする「鹿屋の中心でだっきしょを投げる」などのイベントが行われたほか、玩具を修理する「おもちゃ病院」なども開催。会場には家族連れなど約5,000人が訪れ、イベントを楽しんでいました。